

新年度講座の1案内

(要申し込み)

●2021年度最初のおはなし会

・日時 4月21日(水) 10時~12時

・会場 熊本市立図書館集会室

●ナンセンス繪本を味わう

・日時 5月19日(水) 10時~12時

・会場 熊本市立図書館集会室

●生きる力をいかでどのように獲得するのか

課題本『生きるよあけ』(童心社)

・日時 6月16日(水) 10時~12時

・会場 熊本市立図書館集会室

(申し込み先)

・メール : [kouza(a)kodomonohon.org

(「@」を「@」に変更して宛先にして下さい)

・f a x 096(382)5090

正会員以外の方が参加される場合には、資料代として500円いただきます。

(開催会場及び日程は社会状況により変更または中止となる場合があります。必ずホームページや「確認願います」

へ皆様のご参加をお待ちしております。

本はともだちー

■ A

■ B

での3人の冒険談と、技術力に勝った東の帝国の西進を背景とした次期女王座を巡っての政争の

ゆくえは、少女漫画的ディストラーブキドキしながら楽しめました。この中世的世界が巨大な人工知能の管理下にあり、フイリエルとルーン

見つけたのが荻原規子の『西の善き魔女』勾玉三部作が面白かった記憶に加え、昨年読みまくっていたライトノベル的題名(やはり漫画化、アニメ化されていました)に魅かれて、借りてきました。

女王が統べるグラール王国の北の端の田舎で天文台に住むディー博士の子供として育つたフイリエルが、母親の形見のペンダントをつけて領主主催のパーティーに参加することから物語が動き始めます。領主の養女アデイル(実は女王の長女の娘で次期女王候補)に、そのペンダントが追放された元玉女(女王の次女)の所有物であると指摘されたことから、フイリエルは潜在的女王候補として貴族社会の政争に巻き込まれていくことになります。一方、ディー博士の弟子としてフイリエルと一緒に育つたルーンが、博士直伝の知識を有することから闇組織に狙われ、政争に巻き込まれていきます。領主の娘、女学校、王宮、竜が出現する南の国、東の砂漠の国といった舞台

1月初めに緊急事態宣言が発令されたことがあり、母(幸子)を訪問するのが難しくなり、週末電話で話をするだけになつていましたが、2月23日に4か月振りに会つて話をすることができました。昼間は施設の方々と一緒にテレビなどを見ていたら、お仕事の人の一人が、閉講講座で会員の方々にお会いする」とお伝えましたら、喜んでくれました。

(横田 真)

■編集:池田・金子・田原 堀《イラスト》安田

特定非営利活動法人
熊本子どもの本の研究会 発行

〒861-8029

熊本市東区 西原一丁目二五の一四
f a x 096(382)5090